

# 無限 MUGEN

## 84112-XNCF-K0S0

### CIVIC TYPE R CARBON REAR WING

## 取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。  
以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付け下さいますようお願い申し上げます。  
取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

### ⚠️ ご注意

1. 開梱後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損のないことを確認して下さい。
2. 取り付け前に、適合車種の確認を行って下さい。  

[適合車種]	CIVIC TYPE R	DBA-FK8
		6BA-FK8
3. 純正パーツの取り付け・取り外しは、サービスマニュアルに従って、作業を行って下さい。
4. 本製品の改造、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんのでご了承下さい。
5. ボルト及びナットの締め付けには、寸法のあった工具を使用して確実に行って下さい。  
また、締め付けトルクの指示がある場合には、規定のトルクにて締め付けて下さい。
6. 作業完了後にボルトのトルクチェックを必ず行い、ゆるみがないことを確認して下さい。
7. 作業環境として20℃以上の温度を保てる場所での作業を推奨します。
8. 両面テープの接着不良を防ぐ為、取り付け後は最低1日以上は水が掛からない様にして下さい。

商品についてのご質問・ご不明な点等ございましたら下記までお問い合わせ下さい。

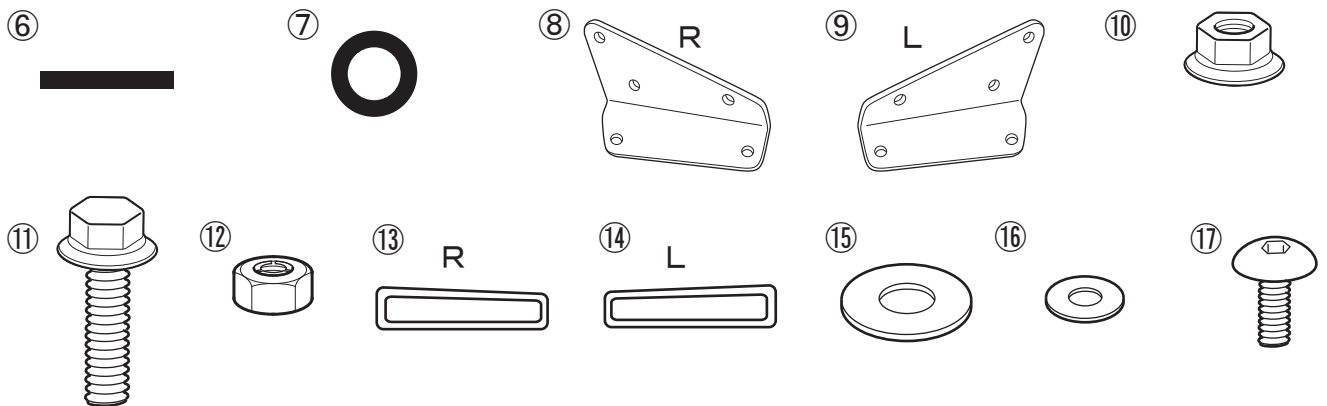
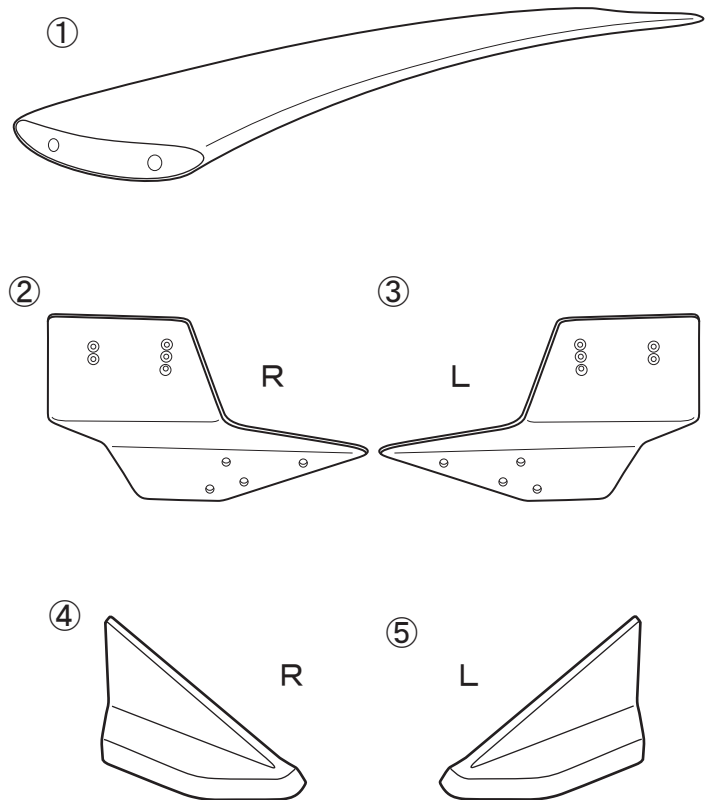
株式会社 M-TEC 商品事業部  
〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11  
【営業時間10:00~17:00（土日・祝日・弊社指定定休日を除く）】  
TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121

### お客様へ

1. リア ウィングが事故や接触等により破損・変形した場合は、直ちに修復するか取り外して下さい。  
そのままの走行は、事故発生の原因になる恐れがあり、大変危険です。
2. 自動洗車機での洗車は避けて下さい。  
リア ウィングに無理な力が加わり、破損の原因となることがあります。
3. 定期的にボルト・ナット類のゆるみ（※トルクチェック）、ガタ等を点検し、取り付け状態を確認して下さい。  
※指示トルク値は取説作業欄を参照

## 【構成部品表】

No.	PARTS NAME.	QTY.
①	ウイング	1
②	ステー R	1
③	ステー L	1
④	カバー R	1
⑤	カバー L	1
⑥	ブラックアウトフィルム	1
⑦	エプトシーラー	4
⑧	ブラケット R	1
⑨	ブラケット L	1
⑩	フランジナットM6	4
⑪	フランジボルトM6×65	4
⑫	Uナット	6
⑬	テールゲート ストッパー R	1
⑭	テールゲート ストッパー L	1
⑮	ワッシャー (大)	6
⑯	ワッシャー (小)	12
⑰	ボタンボルトM6×20	12
⑱	ステッカー	2



本書本文中の使用部品番号は構成部品表に準じます。

## 【必要工具】

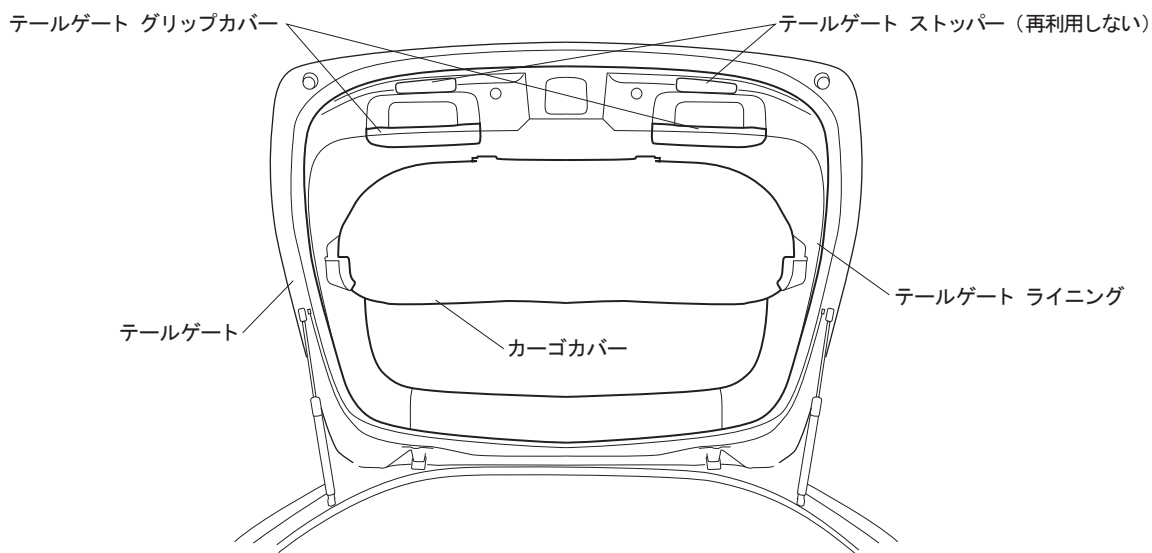
- ・IPA ・ウエス ・ヘキサゴンレンチ4番 ・メガネレンチ/10mm ・スパナ/10mm
- ・トルクレンチ・ソケットレンチ/10mm ・クリップリムーバー ・スケール ・ハサミ
- ・ドライヤーやヒートガン等 (作業環境に応じて使用する。) ・マスキングテープ

- 《作業上の注意》
- ・内装部品等に傷を付けないよう注意すること。
  - ・ケガ防止の為、保護具等を着用して作業を行うこと。
  - ・作業は、他の人に保持してもらいながら行うこと。
  - ・必ず適切な工具（工具サイズ）を使用すること。

## I. 取付準備

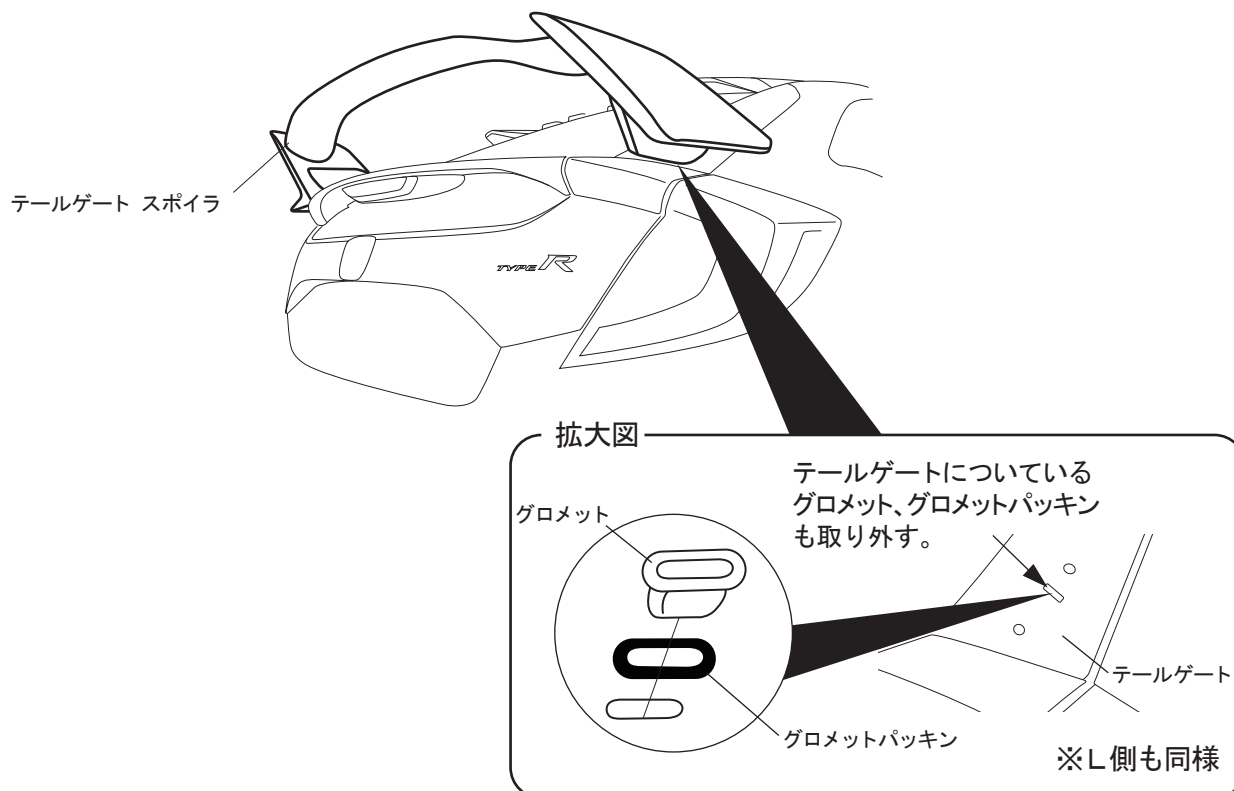
1. テールゲートを開け、テールゲート グリップカバー、カーゴカバー、テールゲート ライニング、テールゲート ストッパーを外す。

※このとき外したテールゲート ストッパーは再利用しない。



2. テールゲートからテールゲート スポイラを取り外す。（サービスマニュアル参照）

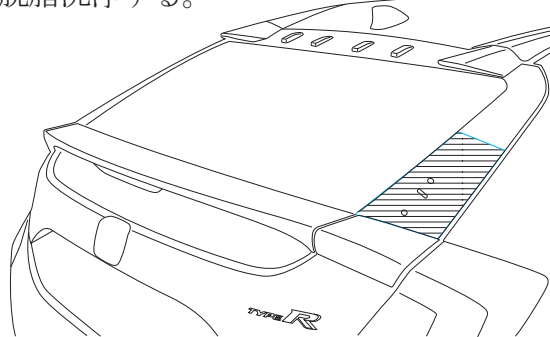
※このときテールゲートに付いているグロメット、グロメットパッキンも同時に取り外すこと。



- 《作業上の注意》
- ・内外装部品等に傷を付けないよう注意すること。
  - ・ケガ防止の為、保護具等を着用して作業を行うこと。
  - ・作業は、他の人に保持してもらいながら行うこと。
  - ・必ず適切な工具（工具サイズ）を使用すること。

## II. リア ウイングの取付

1. テールゲート下図斜線部を脱脂洗浄する。



※L側も同様

2. ハサミ等で、穴を覆えるサイズ（約30mm）に切り出した⑥ブラックアウトフィルムと⑦エプトシーラーをテールゲート上面のボルト穴及びグロメット穴に貼り付ける。

⑥ (1)



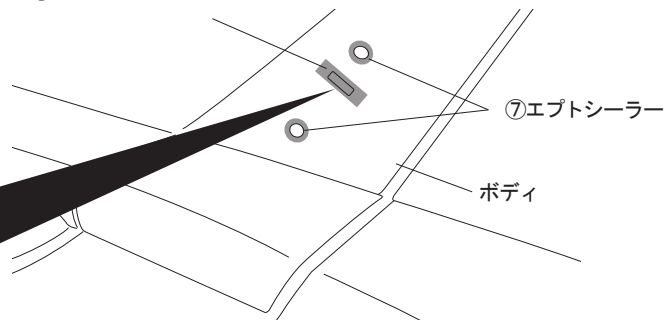
ブラックアウトフィルム

⑦ (4)



エプトシーラー

⑥ブラックアウトフィルム

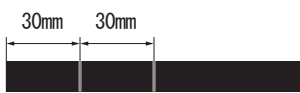


⑦エプトシーラー

ボディ

※L側も同様

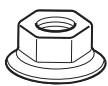
拡大図



⑥ブラックアウトフィルムを約30mmのサイズにカットする。

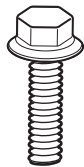
3. ⑧ブラケット Rを⑪フランジボルトM6×65と⑩フランジナットM6を使いテールゲートに仮固定する。

⑩ (4)



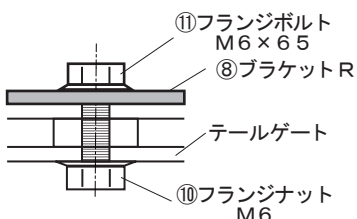
フランジナット  
M6

⑪ (4)



フランジボルト  
M6×65

断面図

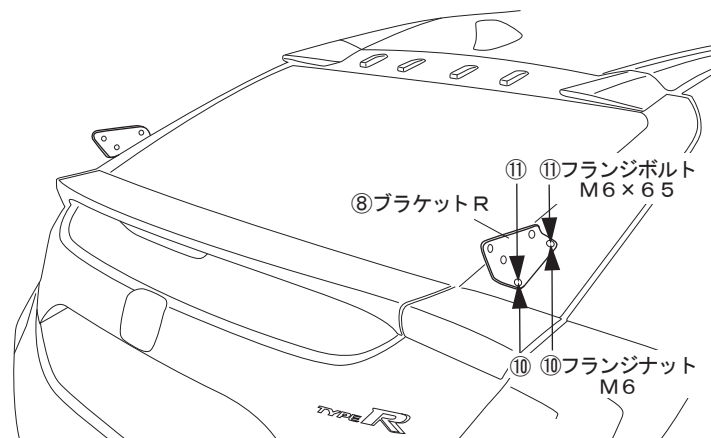


⑪フランジボルト  
M6×65

⑧ブラケット R

テールゲート

⑩フランジナット  
M6



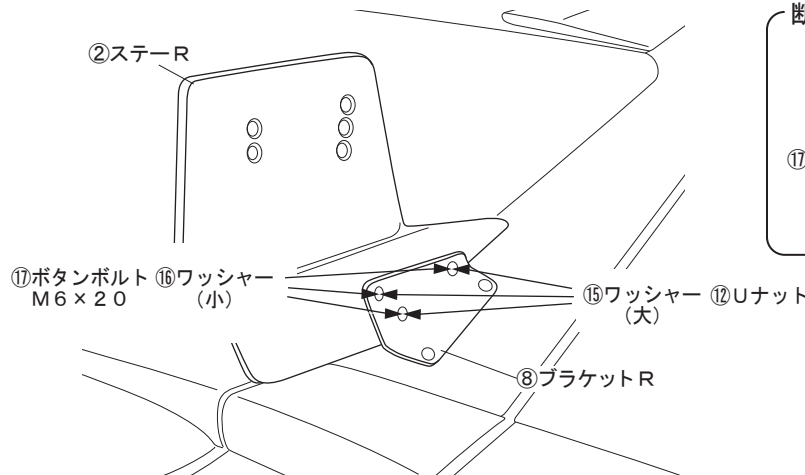
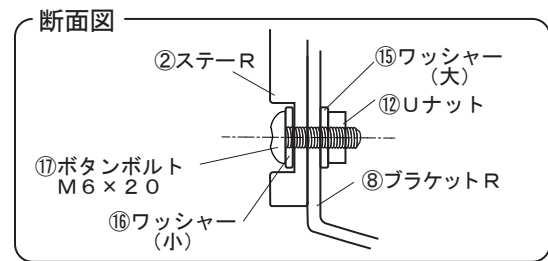
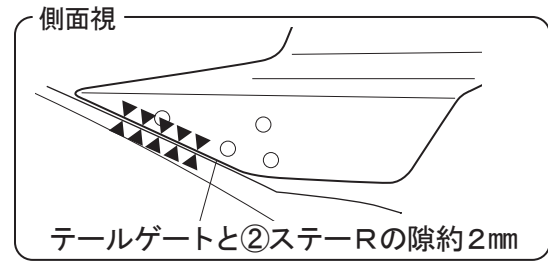
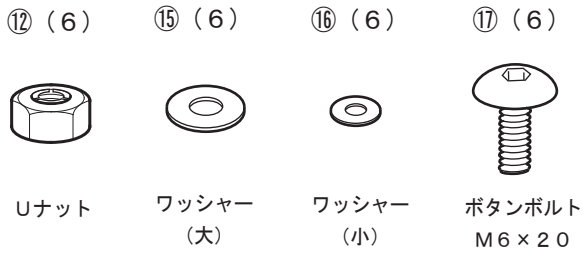
⑧ブラケット R

⑪フランジボルト  
M6×65

⑩フランジナット  
M6

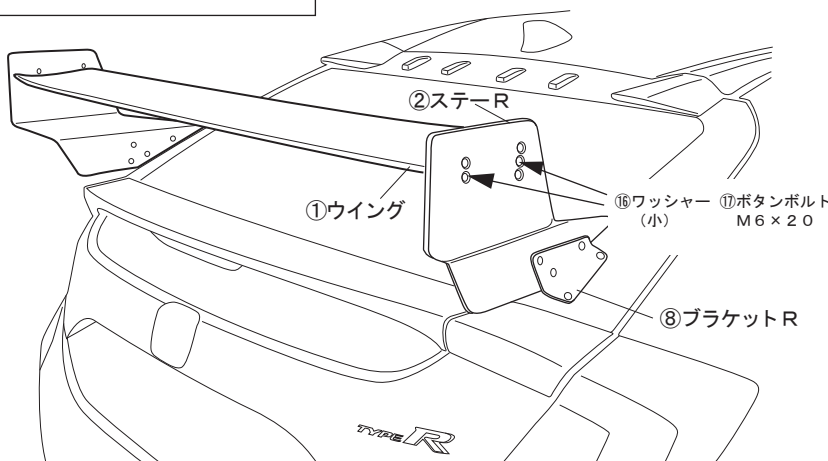
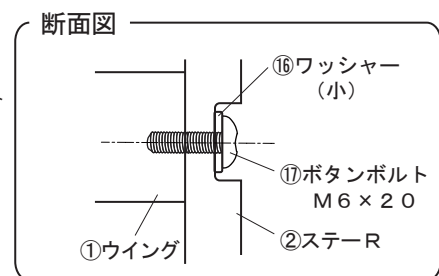
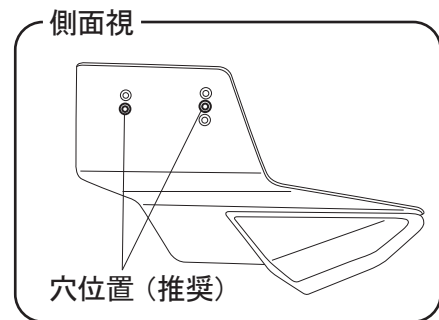
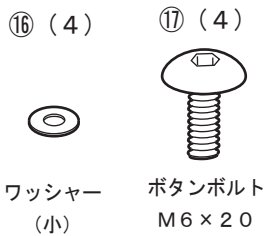
※L側も同様

4. ②ステー Rを⑰ボタンボルトM6×20と⑱ワッシャー (小)、⑮ワッシャー (大)、⑫Uナットを使い、⑧ブラケット Rに仮固定する。



※L側も同様

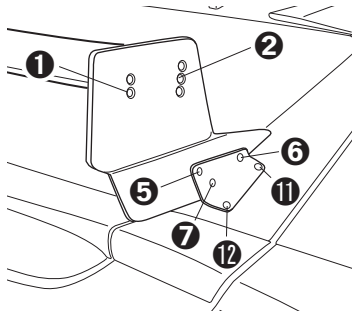
5. ①ウイングを⑰ボタンボルトM6×20、⑱ワッシャー (小) を使い、②ステーRに仮固定する。  
※ステー及びウイングに傷を付けないよう注意すること。



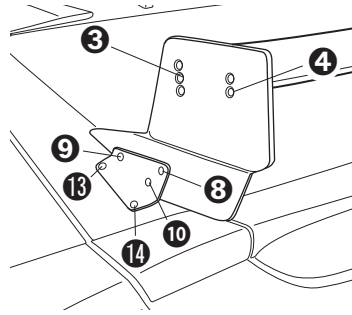
※L側も同様

6. 各部の取り付けバランス及びクリアランスを確認し、下記の順 (①~⑭) で各ボルトを規定の締付トルクで締付け、固定する。

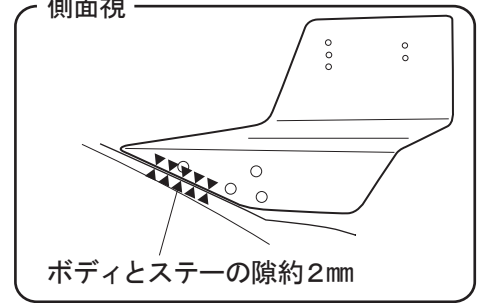
[R側]



[L側]



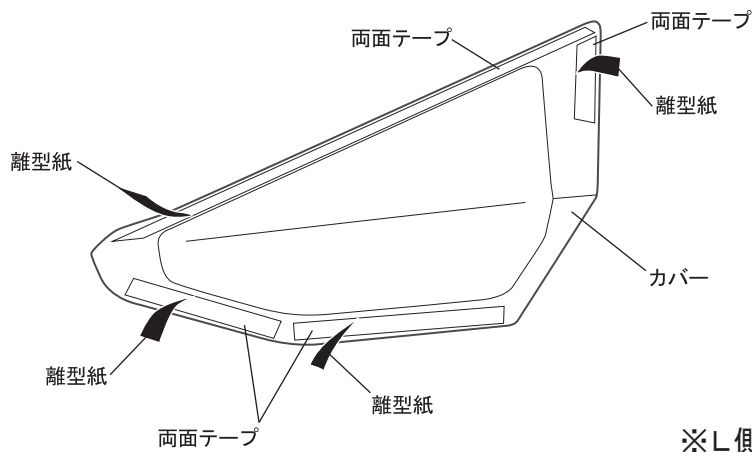
側面視



⚠ 締付けトルク 9.3 N.m

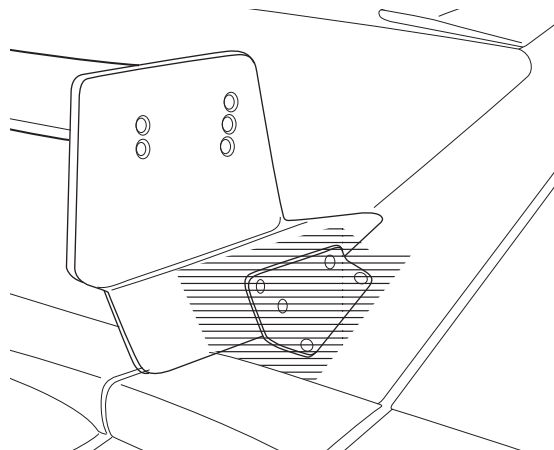
7. ④カバー Rに貼られている両面テープの離型紙の一部を剥がし、めくり出して表側に折り返し、マスキングテープで固定する。

※裏面視



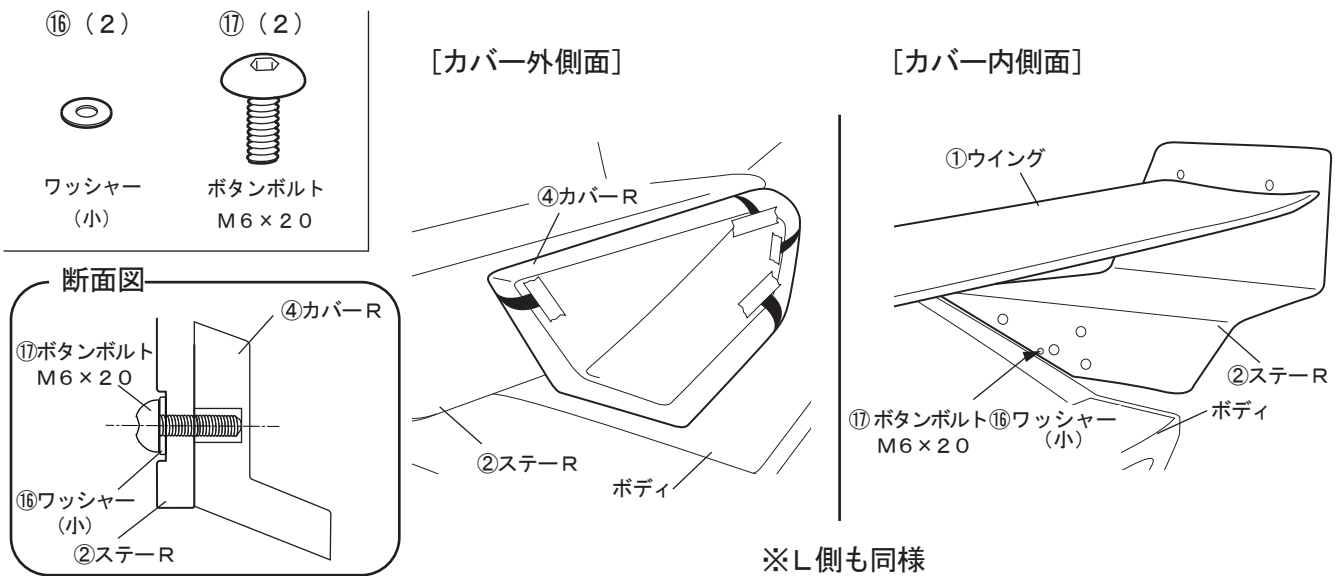
※L側も同様

8. 車両斜線部を脱脂洗浄する。

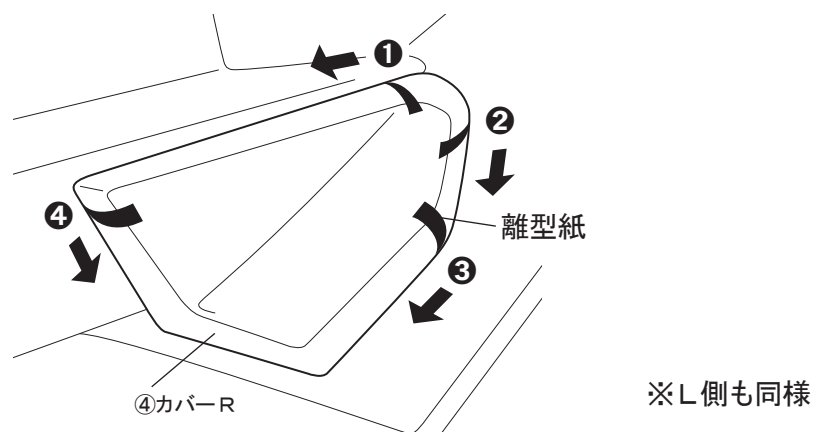


※L側も同様

9. ④カバー Rを②ステー R及びテールゲートに取り付け、⑰ボタンボルトM6×20、⑱ワッシャー(小)を使い、仮締めする。



10. 取り付け位置を確認し、両面テープの離型紙を矢印の方向に、下記の順(①~④)で引き抜くように剥がし、圧着する。



※両面テープの圧着は十分行うこと。圧着不足は、浮きや剥がれの原因となります。

**注意**

接着力を向上させる為、両面テープ貼り付け時には、作業環境が20℃以上の状態で行うこと。温度が低いときには、両面テープをドライヤー等で温めてから作業を行うこと。

11. II-9で仮締めした⑰ボタンボルトM6×20を本締めする。

⚠ 締め付けトルク9.3 N.m

※L側も同様

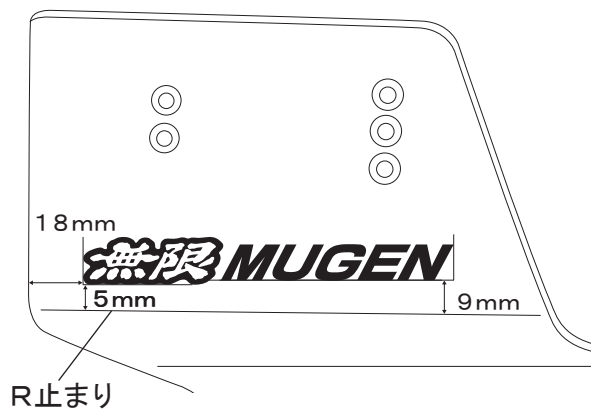
12. 付属の⑱ステッカーを下図の寸法で②③ステー R/Lに貼り付ける。(推奨位置)

⑱ (2)

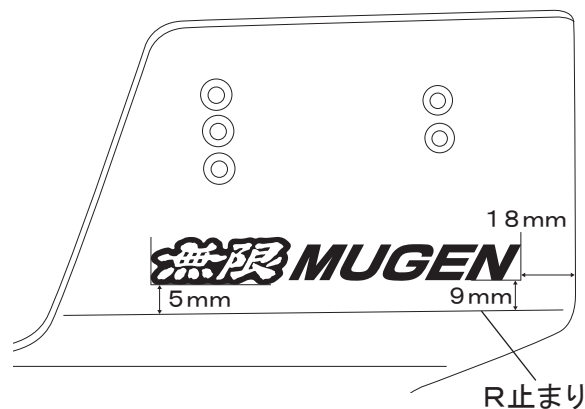
無限 MUGEN

ステッカー

[R側]



[L側]



13. 取り外しと逆の手順でテールゲート グリップカバー、カーゴカバー、テールゲート ライニング、同梱されている⑬⑭テールゲート ストッパー R/Lを車両に取り付け、復元する。

※テールゲート ストッパーを取り付ける際、R/Lに注意すること。

⑬ (1)

⑭ (1)



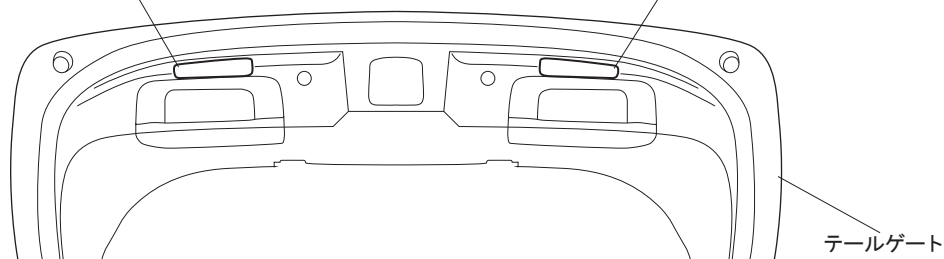
R

L

テールゲート ストッパー

⑭テールゲート ストッパー L

⑬テールゲート ストッパー R



14. 取り付け状態が完全か、確認する。